

第八期鑑真学院日本分校

「天の気は上に位置しており、地の気は下に位置しており、天の気は下降し、地の気は上昇しますが、その天と地の気が交わる所が気交と呼ばれ、人間はとりもなおさずこの気交の中で生活しているのです。」

本講義では、東洋医学の基本となる、『黄帝内経素問靈枢』の「天人相応」をベースに、参考書『和の養生学』を読みながら、また実習することにより、毎日の健康管理に役立つ様になるのを目的とします。

場所：(有) 漢方の野崎薬局 〒501-3144 岐阜市芥見大般若2丁目34番地3

電話 058-241-1661 FAX 058-241-0909

y@pleaseconsultwith.me

講座時間は、午後7時～8時30分

講座1回	4月4日	開講式、陰陽学説、五行学説、食養生・春の食材
講座2回	4月18日	陰陽学説、五行学説、食養生・春の食材
講座3回	5月9日	陰陽学説、五行学説、時節の行事
講座4回	5月16日	1年の養生法、ツボの取穴方法と効能
講座5回	6月6日	唐招提寺開山忌参詣旅行(別途料金8000円)
講座6回	6月13日	薬食同源、調味料
講座7回	6月20日	薬食同源、調味料
講座8回	7月4日	薬食同源、薬味
講座9回	7月18日	食養生(夏の食材)
講座10回	8月1日	食養生(夏の食材)
講座11回	8月22日	1ヶ月の養生法、ツボの取穴方法と効能
講座12回	9月5日	薬食同源、薬味
講座13回	9月19日	薬食同源、薬味
講座14回	10月3日	薬食同源
講座15回	10月17日	1日の養生法、ツボの取穴方法と効能
講座16回	11月7日	薬食同源
講座17回	11月21日	薬食同源
講座18回	12月5日	終講式、時節の行事

- ・参加費用 1年間 30,000円(初めての方は入校料5,000円プラス)
- ・講座参加者には、今回新たに発刊しました『和の養生学』を差し上げます。
- ・終業時、講座の3分の2以上出席された方へは、修了証書を発行します。

皆様のご参加をお待ちしております。

和の養生学 食養生学編



第1章	陰陽論概説	1ページ～5ページ
第2章	五行学説	6ページ～21ページ
第3章	気血総論	22ページ～25ページ
第4章	食養生	26ページ～69ページ
第5章	薬食同源	70ページ～146ページ
第6章	薬味の効用	147ページ～188ページ
第7章	大切な調味料	189ページ～202ページ
第8章	陰陽の盛衰と養生法	203ページ～232ページ
第9章	陰陽五行と時節の行事	233ページ～248ページ

(有)漢方の野崎薬局代表 野崎 康弘

はじめに

東洋医学の道に進み四十五年の歳月が経過し、その間たくさんの「ご縁」を頂きました。

岐阜薬科大学在学中は、現在同大学名誉教授の水野瑞夫氏より薬草を学び、卒業後、大阪にて夜間の針灸専門学校に通学しつつ麻酔医の三枝博医師より針灸を学び、開業後は、十数年に渡り中医師の医学博士・邵輝先生より東洋医学の神髄を学び、植物分類学者の橋本竹二郎先生からは薬草とのかかわりを学びました。

そして、橋本竹二郎先生と邵輝先生の「ご縁」から、日本の医薬の鼻祖である鑑真和上との「ご縁」に導かれました。

その後、鑑真和上との「ご縁」から、美濃加茂市伊深町の正眼寺老師、正眼短期大学学長の山川宗玄師との「ご縁」に導かれ、二〇〇八年より正眼短期大学の非常勤講師の重責を頂くこととなり、「和の養生学」へと学びの輪が広がりました。

本書は、正眼短期大学にて十一年間、鑑真学院日本分校にて七年間、東洋医学の原点である陰陽五行学説を基に講義させて頂いた内容をまとめ、追加し、日本人が忘れがちになっている「伝統的な日本の食や伝統行事」を解説しまとめました。

今一度、日本人の先祖の遺産に目を向けていただき、毎日を健康に過ごす参考書になればと考へ出版することになりました。

尊い「ご縁」を頂いたことを感謝申し上げます。

重ねて、御礼と今後ともご指導をお願い申し上げます。

二〇一九年四月 清明

野崎 康弘